

## 全校朝礼

- ☆ 先週の6月8日(木)～10日(土)の2泊3日で岐阜県飛騨高山方面に修学旅行に行ってきました。本当に楽しい3日間を過ごせたので、その報告を1・2年生の皆さんにしておきます。
- ☆ 今回の修学旅行に参加して、中学生として身に付けておくべきことは、2点あると感じました。その1点目は、集団として切り替え(話を聞く時と活動する時など)ができること。
- ☆ そのことができることで、
  - ・ 時間通りに計画が進んだ
  - ・ よく話が聞けているので、活動自体がスムーズ(忘れ物等もなく)
  - ・ 先生に大きな声で叱られることもなく、誰一人嫌な思いをすることがなかった
  - ・ 協力しようという気持ちが高まった(レクリエーションなど、みんなで盛り上がった)
- ☆ もうひとつは、あいさつです。1月ほど前の1年生の学年朝礼で『あいさつについて』のお話がありました。「あいさつは、最も大切な人とのコミュニケーションツールだ」と言われていました。
- ☆ あいさつを漢字で書くと少し難しいですが、その意味は「相手に心を開いて近づいていく」ということだそうです。
  - ・ 一例ですが、バスガイドさん・運転手さんとの関わりも、初日の朝のあいさつから始まり、乗り降りの時のお礼などを含め、距離が徐々に縮まった。
  - ・ 体験活動(魚釣りやバームクーヘンづくりなど)では、一緒に参加してくれることで、交流もできました。
  - ・ あらゆるところで、このような場面があったように思います。
- ☆ 私の乗っていたバスのガイドさんが、最終日の学校へ着く直前に、あいさつが素晴らしく本当に気持ち良く仕事をさせてもらいました。
- ☆ 「今まで、多くの修学旅行の学校を見てきましたが、一番気持ちの良い学校でした」というのが最後のご挨拶でした。
- ☆ 3年生は、今後も下級生の見本となるように、1・2年生の皆さんも、今、お話しした2点について意識して取り組み、ぜひとも身に付けてほしいと思っています。